

第178号

令和元年10月1日発行

発行所

(一社)東京都トラック協会大田支部

〒143-0006

東京都大田区平和島5-11-1

TEL 03-3766-3261

ホームページアドレス

http://www.ttaota.com/

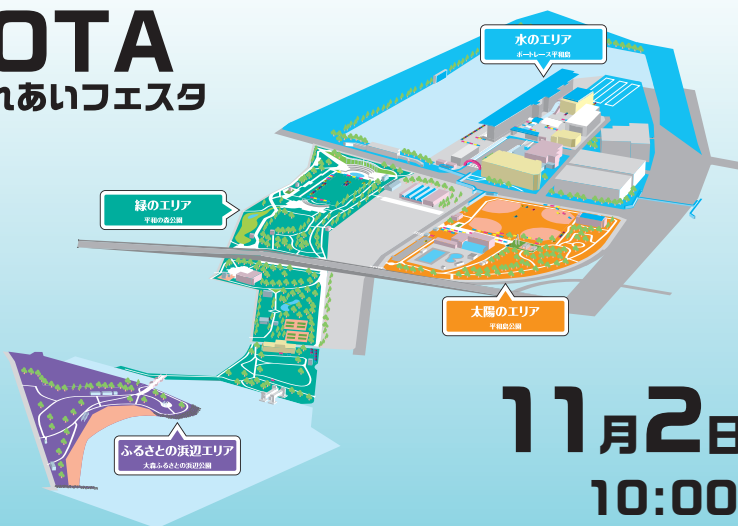
望み*我思う

地球の温暖化が進み世界中で異常気象・災害のニュースを聞く事が多くなった。これだけ科学が進み、技術革新が成されAIやらITなどが年寄りにはついていけない程進歩している時代に於いても大自然の猛威の前では無力である。災害が発生して復旧に戸惑う要因の一つには行政と民間の連携、指揮決断の遅れも有ると聞く。官民一体となり防災に備える仕組みを再構築すべきでもあるし、我々も自社の機能や家族を守るために真剣にBCP（緊急事態に向けた事業継続計画）にも取り組まなければならない。災害が起こった直後は「よし！」と思うのだが、凡人は目先の事に追われてしまう。今度こそ!!。

十月からは消費税も上がり最低時給も上がる。それを運賃に転嫁できないと収益は悪化、労働環境を改善できなければ人手不足は解消されない。負の連鎖を招く。腹を括り今、自ら行動する絶好の好機と捉えて業界全社が独自の方法で取引先にアクションを起こしたらこの業界はもっと良くなるのではないかと思う。そして地道な従業員教育や支部が行っている啓蒙活動（九月に行われた東ト協の「トラックフェスタ2019」等の）広報活動の

内容も充分見直して単なる「無料で一日遊べて沢山無料で物がもらえる」だけの催しに終わらず「災害時の物資輸送や日々の生活用品を安心確実に運ぶ国民の生活を支えている重要な役目を担っている業界」である事を認知させ、若い人が憧れと希望をもって従事できる職業である事を広めていかねばならないと感じる。これから開催される「大田ふれあいフェスタ」に於いても毎年多くの支部の方が参加してくださり業界の活動周知や災害地支援活動・献血と骨髓ドナー登録活動を行って頂いております。その結束力は見事であります。その力を背に受けて支部会員の皆様が今後おしよせる難問・災害時での対応などをお手伝いできるような協会になる事も求められています。

OTA
ふれあいフェスタ



11月2日(土)3日(日)
10:00~16:00

活動報告 女性部

初秋の 研修見学会

残暑の厳しい日が続いておりますが、朝晩の風の涼しさに秋を感じる今日この頃です。

皆様方には女性部の活動に、大変ご協力頂きまして有り難うございます。

今回女性部では、秋の研修見学会を、九月七日に開催致しました。東日本大震災後の、大きな復活をされた「おかめ納豆」で有名なタカノフーズ納豆博物館を見学。納豆にも色々な種類の品が有りまして、切干し大根の入った味付けそぼろ納豆、美容に良いコラーゲン入りの納豆等があり、とても美味でした。又、茨城県トラック協会様のご厚意に依り、茨城県トラック総合会館（防災・研修センター）を斉藤常任理事様のご案内で見学させ

て頂きました。災害時には、緊急物資輸送の拠点として対応できる防災施設と地域住民の避難所を兼ね備えた素晴らしい施設でした。又、大震災での大きな被害を受けた那珂湊や大洗町、お魚市場、明太パークも見事に復活しておりました。

秋の交通安全運動の期間に際しましては、松原支部長様、各分会長様にご同行して頂き区内五警察署へ生花をお届け致しました。

九月十四・十五日には、代々木公園で東ト協トラックフェスタが開催されました。

トラックの日、大田フェスタと行事が続きます。皆様にはお忙しい事と存じますがお手伝いの方も宜しくお願い致します。

異常気象に依る豪雨なのでしょいか、各地での災害、九州四国での大雨洪水。関東地方にも台風が上陸し首都圏を直撃、東京都も被害の影響も大変でした。千葉県では何日もの停電、断水が続いて身も心も疲弊してしまつたことでしょう。

本当に胸が痛みます。心よりお見舞い申し

上げますと共に、一日も早く復興されます事お祈り申し上げます。

